

CORPORATE  
**HOGY**  
BROCHURE

株式会社ホギメディカル会社案内





## CORPORATE PHILOSOPHY

### 社是

「社業を通じて医療進歩の一翼を担い、人々の健やかな生命と幸福に尽くし、もって社会の繁栄に寄与する」

ホギメディカルは医療の進歩に貢献すべく、患者様と医療従事者の方々の安全と、医療機関における経営改善に貢献できる製品・サービスを提供しています。



## TOP MESSAGE

常にお客様の期待を超える製品・サービスを提供することで医療進歩の一翼を担う企業であり続けたい

医療は国や時代に関係なく社会基盤を支える普遍的なものです。

しかしながら、技術革新と社会構造の変化などによって日進月歩で高度化・複雑化しています。日本では、少子高齢化が急速に進んだことにより医療基盤に歪みが生じ、あらゆる場面でトランスフォーメーションが必要とされています。働き方改革は医師だけでなく医療にかかわるすべての方に求められ、医療機関は経営の安定化と生産性の向上の両立を高い水準で実施しなければならず、これまで以上に難しい局面を迎えています。

当社は、これからも医療現場の課題を敏感に察知し、常にお客様の期待を超えるような製品やサービスを提供することでお客様の「安全」と「安心」を確保し、「医療の質」の向上に貢献することを最優先に企業活動を行ってまいります。

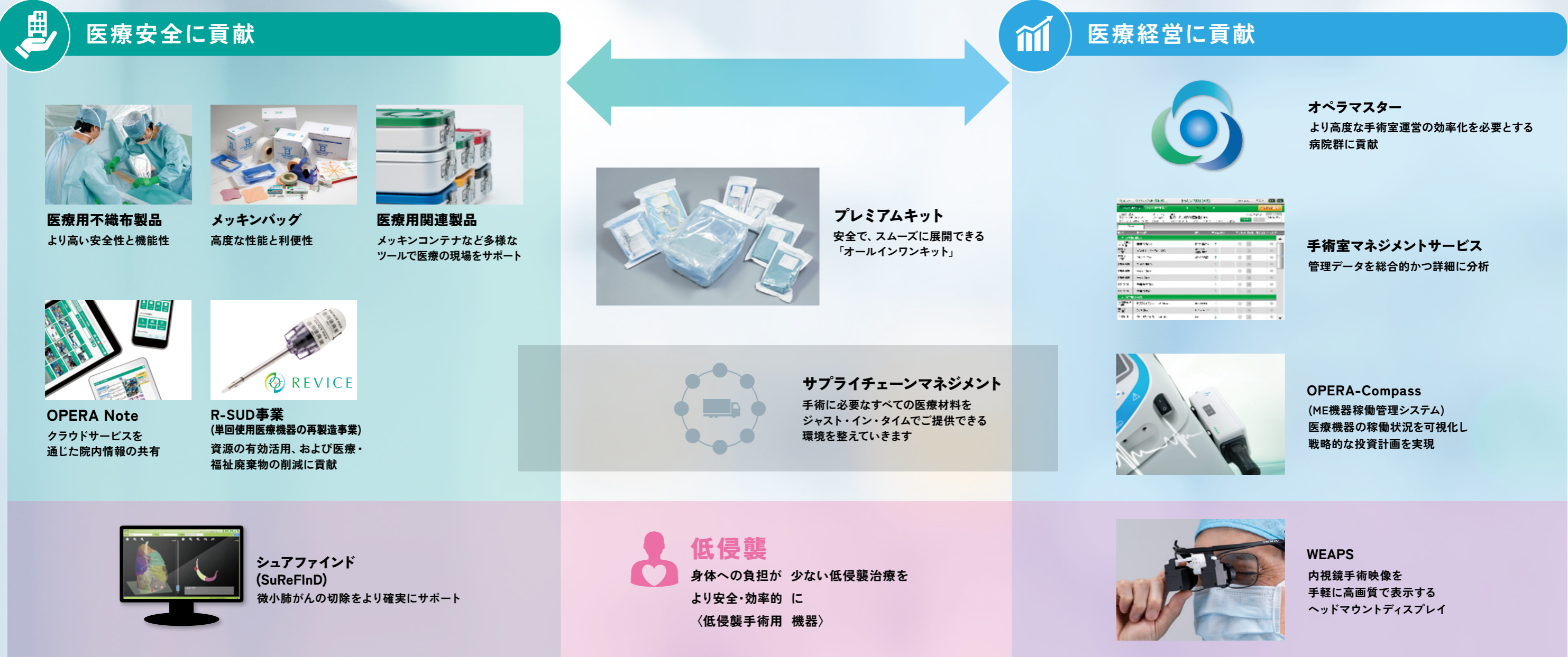


代表取締役社長  
最高経営責任者 (CEO)

川久保 秀樹

## ホギメディカルの事業ドメイン –もっと安全、もっと効率的に–

医療現場のニーズにきめ細かく対応した様々な製品・サービスと安定した供給体制により、医療機関における安全で効率的な手術室の運営と病院経営をサポートします。



人々を救う医療従事者を救うため、我々は日頃からの「安心」「安全」対策で、お客様をサポートいたします

### 高い内製品（自社製造）比率

市場環境の変化に柔軟に対応するため、プレミアムキット、不織布、メッキンバッグの主要製品に関しては、100%自社工場で製造しています。



### 国内工場の機械化を徹底推進

安全な製品を安定した品質で提供するため、自社国内製造品については機械化された工場での製造を行っています。



プレミアムキットの機械化

### 従業員は“社員”であることへのこだわり

- 製品の品質は、社員のロイヤルティにより高まると考えています。
- 海外・国内工場スタッフを含む従業員は原則として社員です。
- 全国に営業所を設け、お客様のニーズや緊急時にも速やかに対応します。



## 約半世紀にわたるホギメディカルの成長の歴史です

## 1961-

## 医療用記録紙からメッキンバッグへ

1961年、創業者保木将夫が「保木記録紙販売株式会社」を設立。「院内感染防止」をテーマにし、医療用記録紙からメッキンバッグの開発へ。

- 1961 保木記録紙販売株式会社設立  
医療用記録紙の販売



- 1964 メッキンバッグ発売



## 1971-

## 手術室の感染防止対策へ

中央材料室から手術室へ進出。手術室の安全性向上のため、不織布を中心とした院内感染防止対策製品の開発へ大きく踏み出す。綿布から医療用不織布への切り替えに注力。

- 1970 株式会社ホギに社名変更

- 1972 医療用不織布製品発売



## 1981-

感染対策に向けた  
ディスポーザブルの啓蒙  
〈綿布から不織布へ〉

綿布から医療用不織布への切り替えによる安全性と経済合理性を提唱。不織布による経済効果の啓蒙活動により、ディスポーザブル製品が大きく普及。

- 1978 美浦工場第一完成

- 1983 美浦工場第二完成

- 1987 株式会社ホギメディカルに社名変更

- 1989 江戸崎配送センター（全自動倉庫）完成



## 1991-

## 新たな挑戦

製品の安定供給のため、海外生産拠点P.T.ホギインドネシアを設立。また、看護師の業務改善を目指し手術用キット製品を開発。

- 1991 東京証券取引所市場第二部上場

- 1992 江戸崎滅菌センター稼働（電子線滅菌）

- 1995 筑波滅菌センター（全自動電子線滅菌）完成

- 1997 筑波配送センター（全自動倉庫）完成

- 2000 東京証券取引所市場第一部指定

## 2001-

## 21世紀へ飛翔

製品の販売に情報を付加することによって医療機関の経営改善を目指す、オペラマスターを発売。フルキットからオペラマスターへと進化。

- 2005 オペラマスター専用生産ライン稼働

- 2006 筑波OPC（自動倉庫）稼働

- 2012 手術室マネジメントサービス発売

- 2017 筑波新キット工場稼働



## 2020-

## 医療従事者の働き方改革を支援

人手不足、医師不足をサポートするために開発されたプレミアムキットが本格的に普及しはじめる。

- 1994 P.T. ホギインドネシア（現連結子会社）設立  
キット製品発売



- 2002 本社ビル完成



- 2003 筑波工場稼働

- 2004 オペラマスター発売

- 2011 P.T. ホギメディカル セールス インドネシア  
（現連結孫会社）設立

- 2015 EMARO発売

- 2016 プレミアムキット発売



- 2018 ホギメディカル・アジア・パシフィック PTE, LTD.  
（現連結子会社）設立

- 2022 東京証券取引所の市場区分の見直しにより、東京証券取引所の市場第一部からプライム市場に移行

REVICE（再製造単回使用医療機器）発売

- 2023 筑波新キット工場II期稼働開始

# Sustainability

当社は、企業価値の持続的向上を使命とし、全てのステークホルダーから選ばれ、信頼されることを目指しています。未来にも安全と安心を届け続けることで、地球環境と医療、経済の共存を目指し、新たなソリューションを提供してまいります。

## サステナビリティ方針

当社は、「社業を通じて医療進歩の一翼を担い、人々の健やかな生命と幸福に尽くし、もって社会の繁栄に寄与する」という社是のもと、医療の安全と安心を守り、人々の健やかな生命と幸福に満ちた持続可能な社会を次の世代に引き渡すために、以下の方針を定め、実施し、維持してまいります。

1. 当社は、中長期の経営計画を策定し、既存事業の拡大と新たな挑戦を通じて医療課題の解決と発展に貢献します。
2. 当社は、安全で高品質な製品とサービスを開発・製造し、これらを将来にわたり安定的に提供することを通じて、環境や社会課題の解決に取り組めます。
3. 当社は、プライム市場上場企業として、高いガバナンス水準を備え透明性の高い経営を行い、ステークホルダーとの建設的な対話を促進し、持続的な企業価値の向上に努めます。



地球環境と医療・経済の共存を目指す

深刻化する気候変動に対応するため、「GHG排出削減」「環境に配慮した製品開発」に全社活動として取り組んでいます。

## ほたるの郷プロジェクト

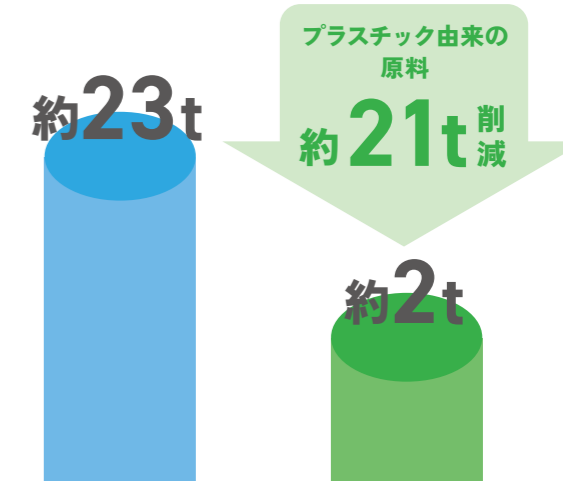


環境保全活動「ほたるの郷プロジェクト」を2009年より実施しています。当社筑波工場に隣接する「谷津田」と呼ばれる湿地帯に、無農薬で米を栽培し、水田として再生・復活させることを目的としております。今までに延べ2,500人を超える従業員やその家族が参加しました。



## 環境に配慮した製品開発に向けて

当社ではR-SUD（再製造単回使用医療機器）に代表されるような地球環境に配慮した製品づくりを目指しています。また、製品そのものに限らず、包装形態の見直しや、包装材料の変更などにも取り組んでいます。今後も品質を維持しながら、環境に優しい製品を計画していきたいと考えています。



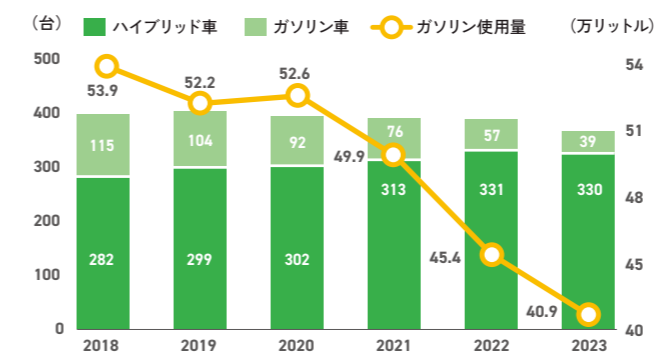
2022年度出庫数を基に包装形態の変更による年間プラスチック由来原料の削減量を当社にて試算

## 営業車両の85%以上をハイブリット車に



営業車を順次ハイブリッド車へ切り替え2023年現在、全営業車の85.3%以上がハイブリッド車になりました。それに伴いガソリン使用量も減少傾向にあります。今後はEV車も視野にいれながら環境に配慮した移動手段を選定してまいります。

車両台数・ガソリン使用量



## ひとりひとりが資源を大切に

社員が身近なところから環境を考え、行動することを大切にしています。ペーパーレスの推進や、文具の社内再利用、グリーン購入の推進、クリアファイルの資源回収など、身近なオフィス用品から環境を考え、行動しています。



**S 社会 Sosial** | 人々の健やかな生命と幸福に尽くす

社にはある「医療の進歩の一翼を担う」ことを目指し、製品開発や医療情報の提供を年間を通じて行っています。また、製品の品質向上を目的として社員教育にも力を入れています。

300名に寄せられる声から新しい製品が誕生



全国23拠点、約300名の営業員に寄せられる、医師や看護師の皆様の声や元を共に共同での製品開発を行っています。近年発売したSuReFlnd（シュアファインド）は現役医師と当社の研究開発とが数年かけて製品化しました。今では新聞や学会等でも取り上げられ、医師からは「先端技術で、患者の負担が少なく、より安全な手術ができる。早期の社会復帰にもつながる」と高い評価をいただいています。さらに2022年度に発売したWeaps（ウェブス）では医師の要望を丁寧にヒアリングし、製品細部にまでこだわり完成させました。このように長年築いてきたお客様との関係性を強みに、これから新たな製品開発に注力してまいります。

製品詳細についてはP23へ >

最新の医療情報をお届け



当社ではお客様への「情報提供」を大切にしています。自社製品に関する情報提供に限らず、業界情報や他施設情報、お客様の困りごとや学びをサポートする情報提供で、医療現場の皆さまの一助になればと考えています。その提供方法も時代と共に進化し、営業員を通じた提供はもちろん、オリジナル冊子の発行や学会等での講演活動から、オンラインセミナーやメールマガジンまで様々なスタイルでお届けしています。



安全な製品の提供に向けISOの保持と教育体制を確立

生産部門ならびに本社部門では、医療機器に特化した品質マネジメントシステムの国際規格であるISO13485を取得しています。

ISO13485の求める組織体制や手続きを維持することで、国内はもとより海外も視野に入れた医療機器の品質を維持できる体制を整えています。お客様ごとに内容の異なるキット製品を作るには手順の正確性とその手順のとおり作業をすることが欠かせません。より安全な製品のご提供に向け日々、生産の質を高める努力をしております。



ESGに関する情報はホームページに掲載のホギメディカルレポートでもご覧いただけます。  
<https://www.hogy.co.jp/company/sustainability.html>



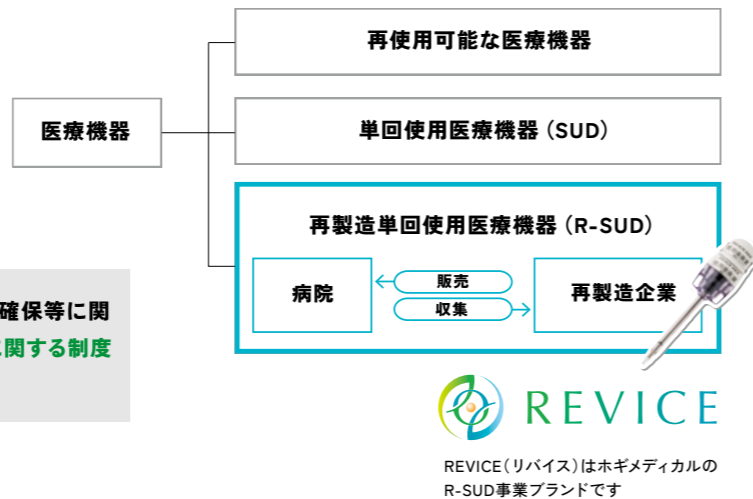
<p><b>E</b></p> <p>Environment</p>	<p><b>S</b></p> <p>Social</p>	<p><b>G</b></p> <p>Governance</p>
<p><b>GHG排出削減</b></p>	<p><b>D&amp;Iの促進</b></p>	<p><b>経営能力の向上</b></p>
<p>自社排出を中心に、長期的にGHG排出を抑制していきます。</p>	<p>多様性を重んじた人材の育成や活用を推進します。</p>	<p>監査等委員会設置会社への移行や、役員報酬に関する短期・中期KPIの開示により、経営の透明化を促進します。</p>
<p><b>環境配慮型製品の開発</b></p>	<p><b>人的資本投資</b></p>	<p><b>リスク体制の強化</b></p>
<p>プラスチック素材の使用量削減、素材変更などを推進します。</p>	<p>教育の機会、成長の機会を創出し、社会に役立つ人材の育成を目指します。</p>	<p>災害・経済・コンプライアンスなど多様なリスクに備える体制と対策を推進します。</p>
<p><b>社会貢献活動</b></p>	<p>最新医療情報の提供や医療従事者に特化した教育セミナーを開催し、最新情報を医療の現場へ届けることで、その発展に貢献していきます。</p>	



## 持続可能な社会を未来へつなぐために、医療の安全・安心を守り続ける ホギメディカルの新しい挑戦です

### R-SUDとは

使用済みの単回使用医療機器 (Single Use Device : SUD) を、医療機器製造販売業者が医療機関から収集し、検査・洗浄・滅菌等の処理 (再製造) を行い、再び使用できるようにした再製造単回使用医療機器です。



2017年7月、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(薬機法)」が改正され、**単回使用医療機器の再製造に関する制度**が創設されました。

### R-SUDの普及によって期待されること

#### 医療安全の確保

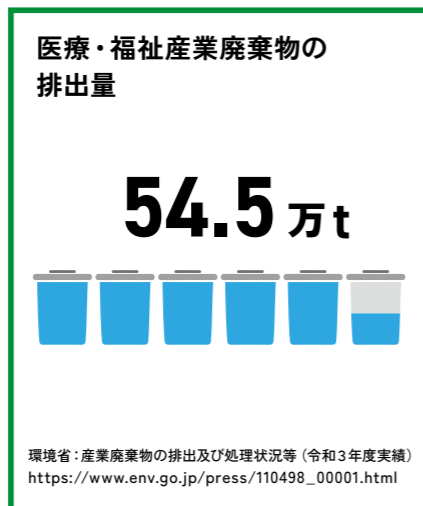
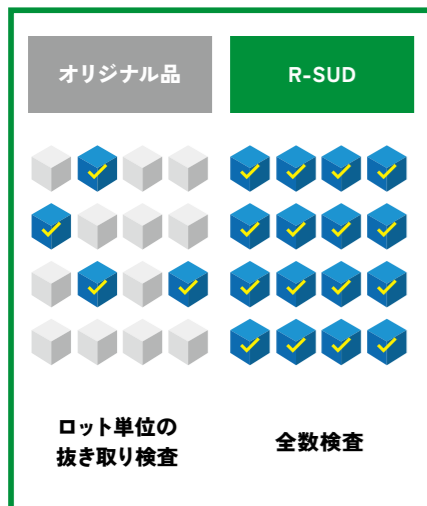
R-SUDは全数検査を実地するため、不具合発生率が抑制されます。

#### 医療資源の有効活用

1回の使用で廃棄となるSUDを再製造することにより、医療・福祉産業廃棄物の削減に貢献します。

#### 持続可能な医療の提供

国内製造のため、世界的なサプライチェーンの寸断リスクに備えた対策に期待ができます。



### 環境への配慮

再製造の際に機器の洗浄で使用した水は、当社工場内に設置した装置で浄化します。浄化された排水は、ヒメダカが生育できるほどの水質が確保され、環境の保全に配慮しています。



### R-SUDの運用イメージ



動画でも紹介しています!

## 安全対策

### ホギメディカルが見つけているのは、一歩先の安全性

医療事故防止のため、当社では多くの安全対策と環境整備、流通製品の規格設定を行っております。

お客様に安心をお届けする為、「医薬品、医療機器等の品質、有効性、および安全性の確保等に関する法律（略称：医薬品医療機器等法）」（旧薬事法）を遵守し、お客様に製品をお届けしています。

#### 1. 製造販売業

- ＞ 厚生労働省令第169号（QMS省令）の遵守（注1）
- ＞ 厚生労働省令第135号（GVP省令）の遵守（注2）

#### 2. 生産

- ＞ ISO13485取得による品質マネジメントシステムの確立（注3）
- ＞ 滅菌バリデーションの導入による滅菌保証体制の確立
- ＞ EOG排ガス規制に伴う、大型排ガス除去装置の設置

#### 3. 流通

- ＞ 製品表示バーコード、GS1-128の実施
- ＞ ロットトレースシステムの導入による製造品履歴の完全把握

（注1）QMS：品質マネジメントシステム

（注2）GVP：製造販売後安全管理業務

（注3）ISO13485：医療機器の品質マネジメントシステムに関する国際規格

## 安全な製品をスピーディーに安定供給 徹底した合理化による効率的な生産体制を確立

ホギメディカルの国内工場は、徹底した機械化による生産ラインを確立しています。2003年に稼働を開始した筑波工場は、全自動の電子線滅菌設備と物流設備を保有しています。また、インドネシアの現地子会社「P.T. ホギインドネシア」は、東南アジアの生産拠点です。これらの国内外の生産ラインを有機的に連動させ、安全な製品の迅速かつ安定的な供給に努めています。



筑波工場



美浦工場第一



美浦工場第二



江戸崎配送センター



江戸崎滅菌センター



P.T. ホギインドネシア



認証番号  
QS 053513 0006  
Rev.00

ホギメディカルは、本社、美浦工場第二、筑波工場、滅菌センターで、ISO13485:2016の認証を取得しています。



登録番号  
JQA-QM5186

美浦工場第一は、ISO9001:2015の認証を取得しています。



P.T.ホギインドネシア第一工場、第二工場は、ISO 13485:2016の認証を取得しています。

ISO13485：医療機器産業に特化した品質マネジメントシステムに関する国際規格  
ISO9001：品質マネジメントシステムに関する国際規格



## 安全で高品質な製品を作り出すプレミアムキット専用工場

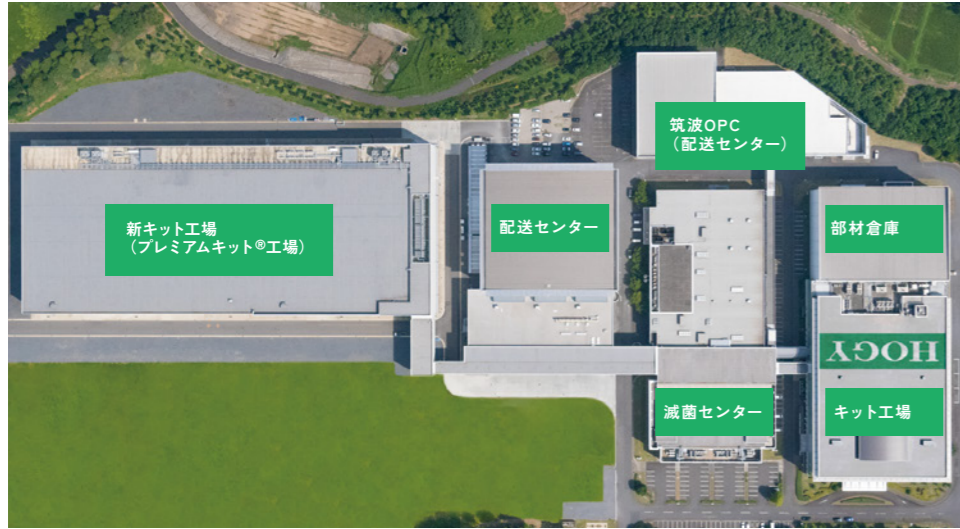


製造の様子が動画でご覧いただけます

筑波工場はより安全性を追求し、機械化による「製品不具合ゼロ」を目標としています。また、お客様の在庫負担を軽減するスピーディーな出荷・配送を実現するため、すでに自動化されている滅菌センター・配送センターと連動し、一貫した生産ラインを実現しました。

2017年には、より安全で高品質なプレミアムキットの安定供給の実現に向けて新キット工場を建設しました。新キット工場では、先進の機械やロボットによる自動化が進み、ホギメディカルが長年にわたって培ってきたノウハウが随所に活かされています。

医療現場を支えるための高品質な製品を、安全で安定的に生産するための機能をハード・ソフトの両面で備えた工場です。



筑波工場



筑波滅菌センター

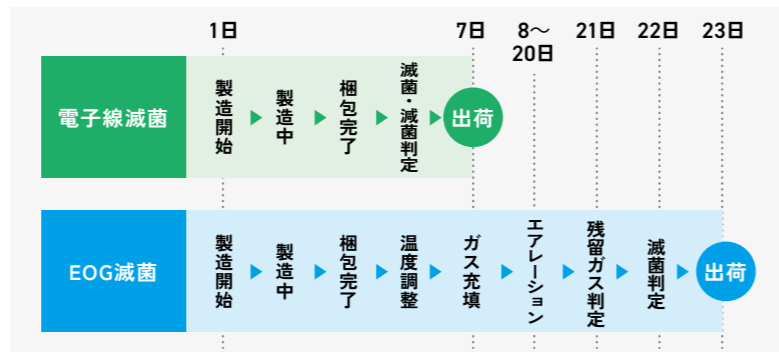
### 特長ある設備 ～電子線滅菌～

現在、単回使用医療機器の滅菌方法は、主にEOG（エチレンオキサイドガス）滅菌や電子線（EB; Electron Beam）滅菌、ガンマ線滅菌があります。

国内のキットメーカーとして初めて電子線滅菌を採用し、30年以上が経過しました。各種規制や法律に準拠するとともに、社内でのバリデーションで製品毎の滅菌条件を設定するなど、これまでに培ってきた滅菌に関するノウハウの結集で可能な限り短い納期でお客様のもとへお届けしています。

#### 当社で採用している2種類の滅菌方法

	電子線滅菌	EOG滅菌（ガス滅菌）
処理方法	連続式	窯式
処理時間	数秒～分	数時間
処理単位	連続大量処理	窯容量単位
残留物	なし ▶後処理不要	あり（毒性） ▶エアレーション処理のため数日を要する



### 工場建屋に免震構造を採用

新キット工場の建屋は免震構造が採用されており、震度7の地震にも耐えられる想定です。免震構造では、地下に設置された免震装置によって、地震の揺れが建屋に伝わりにくくなっています。これにより、ロボットの転倒などを防ぎ、地震直後でも生産可能な状態を確保できると見込んでいます。



## HOGY製品・商品

HOGY Medical's Product Portfolio

- 📦 **キット製品** 17
- 📦 **プレミアムキット** 18
- 📦 **医療用不織布製品** 19
- 📦 **メッキンバッグ** 20
- 📦 **オペラマスター** 21
- 📦 **オペラノート** 22
- 👤 **シュアファインド/ウェブス** 23

- 📦 医療安全に貢献
- 📦 医療経営に貢献
- 👤 低侵襲

※「プレミアムキット」およびプリスターキット、タイベックキットは販売名「一般外科キット」他14種のことを表します。

※ ドレープは販売名「メッキンドレープ又は汎用バック」のことを表します。

## キット製品 Surgical Kit

手術室で使用する医療材料をセット化  
安全性と生産性向上を追求したキット製品

各科手術・検査など、目的に応じた医療材料を必要な数量だけセットしたキット製品。発売以来、業務負担の軽減や、人為的ミス・院内感染防止など、リスク管理の点からも注目を浴びてきました。パッケージを開封すればすぐに手術を開始することができ、準備の手間や時間の大幅な削減で、手術準備の効率向上に貢献します。



## プレミアムキット Premium Surgical Kit

手術の準備業務の仕組みを変え、  
生産性向上と働き方改革に寄与します



従来のキット製品は、術中に必要な医療材料を中心にまとめており、術前・術後に必要な材料は、個別にピッキングして揃えるというものでした。それに対してプレミアムキットは「オールインワンキット」で術前・術中・術後に必要な医療材料をパッケージ化しています。また、内容物の確認が容易な透明の容器で、開封時に材料の荷崩れが起きないように工夫されており、内容物も手術手順に合わせて設計しております。それらによって作業手順の平準化を支援し、手術準備の効率化と安全性向上に貢献します。

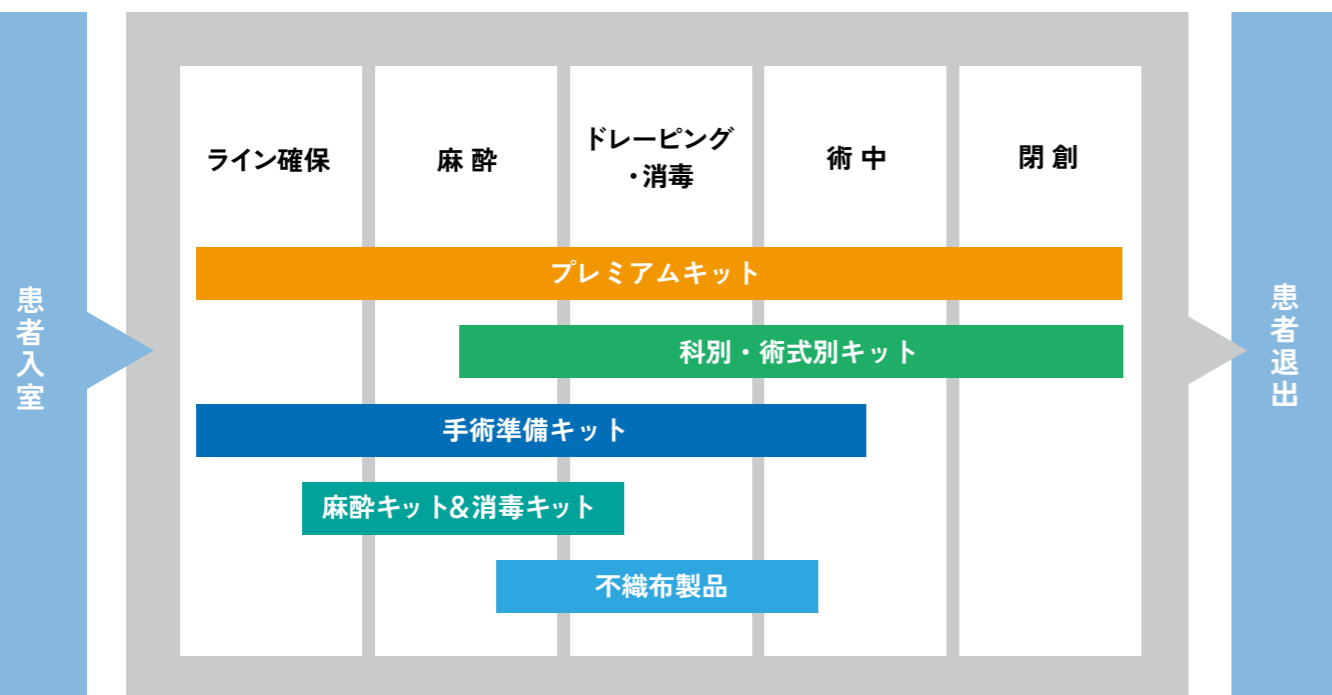
### プレミアムキットによる安全で効率的な手術準備

想定されるこれからの  
日本の医療環境

医療政策により急性期病床へ集約  
急性期病院に患者・手術が集中  
+  
少子高齢化による病院の人手不足



従来のキット製品の内容を大幅に充実させ、手術をトータルでカバーするオールインワンキット。手術準備にかかる作業を大幅に軽減し、院内業務の効率化を安全性の向上に大きく貢献します。



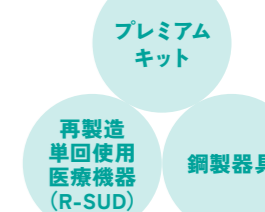
手術準備材料  
ドレープ  
術中使用材料

「プレミアムキット」(術中)

手術手順にそって  
材料をパッケージする  
ことが可能

### 病院経営のさらなる効率化にむけて

地域医療構想による高度急性期・急性期病院の集約とそれに伴う手術の集中、労働人口の減少に伴う手術の集中、労働人口の減少に対して、手術に必要なすべての医療材料をジャスト・イン・タイムで提供する「サプライチェーンマネジメント (SCM)」の実現を目指しています。



## 医療用不織布製品

Medical use  
Non-woven Fabric Products

1972年の発売以来、ホギメディカルは医療現場の感染防止に貢献すべく不織布製品の改良、発展に努めてまいりました。手術の進行を阻害しない軽さと長時間の使用に耐える強度、適度な通気性と高いバリア性能、そのすべてを高次元で実現しました。  
また、自社生産ラインによって、医療機関のニーズに合わせた不織布製品のカスタマイズを可能としています。  
ホギメディカルの不織布製品は、より高い安全性と機能性を医療現場に提供します。



### 安心して働ける環境をお届けいたします

**マスク・キャップ (MCシリーズ)**

- マスクのラインナップ例
  - > N95 (レスピレーター型)
  - > サージカル (超マイクロフィルター)
  - > FBM (液体防護) シールド付き

国産の帯電フィルターにより捕集効率が高く長時間装着しても呼吸しやすい設計です

粉塵のある空気 → フィルター捕集部 → クリーンな空気

**眼を守る**

感染対策保護ゴーグル  
フレームレスアイシールド (お手持ちの眼鏡に容易に装着可能です)

**身を守る**

自社製造製品

メッキンガウン/アームカバー  
シューズカバー

**特徴ある不織布素材 Tigalyer ティガリヤ**

ティガリヤ (Tigalyer) は非常に高い液体防御性能をもつ不織布です。ティガリヤは、三層構造のマルチ・レイヤー・ファブリック (各層が違った特性を持つ素材) で、上下2層の不織布の間にフィルムを挟み込む技術により防水機能を高め、バリア性を確保しました。  
人工血液を使った実験において20kPaの圧力を加えても浸透しないことが確認されています。

- 吸水層 不織布 (血液吸収: ポリエチレン/ポリエステル不織布+吸水加工)
- 防水層 フィルム (完全防水: ポリエチレンフィルム)
- 親水層 不織布 (患者さんが蒸れにくい: ポリエチレン/ポリエステル不織布)

## メッキンバッグ Sterilization Pouch

ホギメディカルのメッキンバッグは  
“滅菌包装材の代名詞”です

滅菌用包装材には、滅菌用の蒸気やガスの容易な透過性ととも無菌保存のためのバリア性という、相反する性質が求められています。1964年、まだ現場では「殺菌・消毒」という概念が残っていた時代に、院内感染防止に寄与する製品づくりを目指し開発されたメッキンバッグは“滅菌用包装材の代名詞”とまでになりました。



### 使用方法

繰り返し使用する器械を洗浄・乾燥後に滅菌紙とフィルムを貼り合わせてできたメッキンバッグに投入し、封をして滅菌することで使用するまで無菌状態を維持します。

## 滅菌コンテナ Sterilization Container

コンテナはフィルターレスの時代へ  
構造を進化させたバルブコンテナ

バルブ式のフィルターレスコンテナは、滅菌の確実性はもちろんですが、作業を安全・スムーズ・効率的に行えるよう細部まで精密にデザインされています。

### POINT

- ① 滅菌準備時に交換する部品のないメンテナンスフリー設計です
- ② 誤開封を防ぐため蓋のロックと底のハンドルは形状を変えています



## イージーフィット システム Easy Fit System

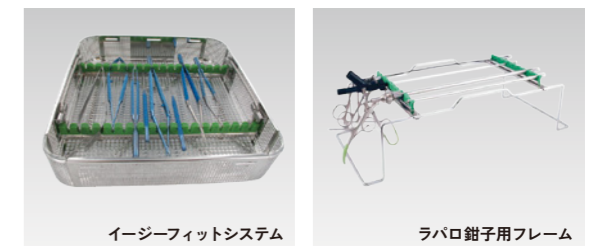
イージーフィットシステムで、  
安全、快適な器械準備を



器具器械の損傷を防ぎ、定位置・定数を見える化し、確実な器械出し・カウント作業・手術室業務の安全に貢献するコンテナバスケットに取り付け可能な、器具保持用のアタッチメントです。

### POINT

- ① 滅菌バルブコンテナに収納したまま滅菌することができます
- ② ラバロ鉗子用フレームは鏡視下手術の円滑な進行をサポートします



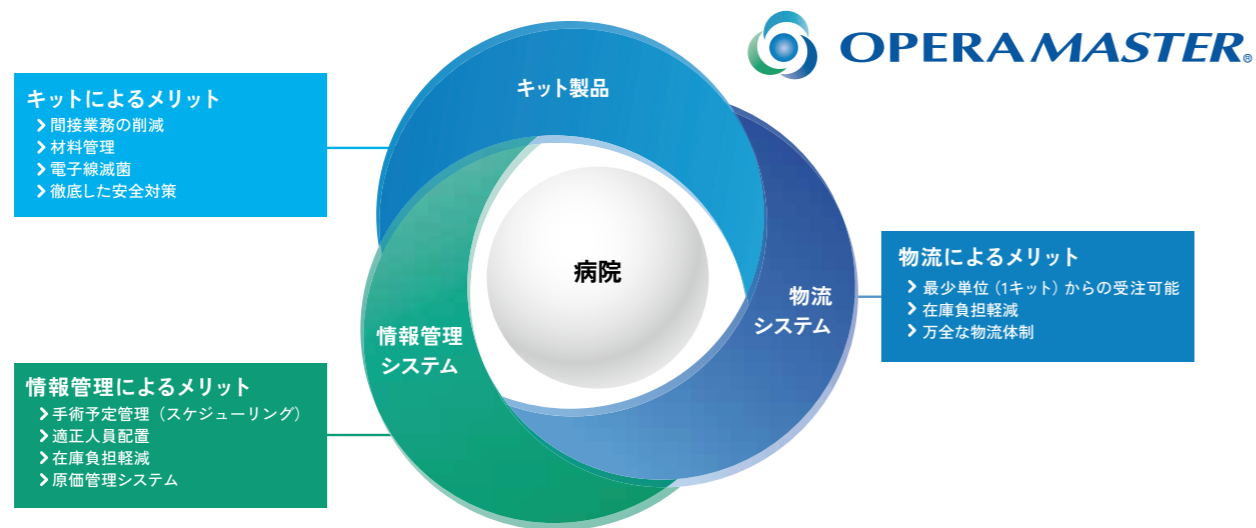
イージーフィットシステム

ラバロ鉗子用フレーム

## オペラマスター OPERA MASTER

収益の向上・安全性の向上・業務の効率化を目的とし、  
「製品・物流・情報」の三つを基軸としたシステム

2004年4月より販売を開始した「オペラマスター」は、製品・物流・情報管理からなるシステムです。手術室の課題の抽出→分析→改善提案を継続的に行うことで、より良い環境整備のお手伝いをします。



### 手術室運営の改善をご提案

「オペラマスター」では、業務の改善計画をお手伝いする「PLAN」→キット製品、ピッキングリストによる実働作業の効率化をはかる「DO」→業務情報を自動集積・管理する「CHECK」→得られた情報をもとに、新たな改善処置を提案する「ACTION」の4つのサイクルを繰り返し、病院の経営の改善をサポートし続けるシステムを構築しました。



## オペラノート (OPENO)

### OPERA-Note (OPENO)

クラウドサービスを通じて、  
院内情報を素早く共有し、医療安全に貢献

OPERA-Note (OPENO) はクラウドサービスで情報を集約し、手術における看護の知識共有と整理、管理を行えるツールです。スマートフォンやタブレット端末でのアクセスを可能にすることで、時間、場所を問わず、各々のスタッフのライフスタイルに合わせて情報共有することが可能です。OPERA-Note (OPENO) によって資料の整理、情報伝達における負担を軽減できるだけでなく、写真や動画による視覚的な情報を共有することができます。また資料の更新や管理、教育課程での記録や分析も容易になります。業務の効率化、手順の可視化、教育の充実、医療安全など、多くの利点を医療現場に提供します。

**OPERA-Note**  
共有し、活用することで、医療の質は良くなる。

でもっと! **OPENO**

- 院内情報共有**  
手術手順書や院内資料を一元管理
- クラウドサービス**  
好きな時に好きな場所で情報管理
- 動画コンテンツ**  
言葉で表現しづらいことを、動画で正確に情報伝達が可能

**現状の医療機関の考えられる課題**

- ☑ 早出出勤や残業などの時間外労働
- ☑ 教育方法のばらつき
- ☑ 医療安全のための情報共有の不足

不安はたくさんあるけれど、先輩が忙しそうで聞きづらい...

手術が長引きヘトヘト... 早く帰りたいけど、明日の予約をしておきたい

新しい器械の勉強会。参加したいけど、子どものお迎えが...

必要な情報をいつでも確認できる共有システム

隙間時間で閲覧できるクラウド型

情報共有し個人のペースでスキルアップ

シュアファインド  
SuReFlnD  
ヘッドマウントディスプレイ  
Weaps

低侵襲手術領域で  
医療の質へ貢献する新製品

高齢者の増加に伴い、より患者の体の傷や痛みなどが少ない低侵襲手術のニーズが高まるといわれています。当社では、低侵襲手術に携わる医師がより安全に手術ができる製品を取り揃えております。

シュアファインド

SuReFlnD

肺腫瘍手術の際に切除範囲を決めるための補助情報をICタグ (RFID)を用いて提供するシステムです。



切除範囲に確実と安心を

シュアファインドは肺切除手術において、微小肺がんをより確実に切除することをサポートする目的で開発しました。RFID (Radio Frequency Identification) 技術を応用した極小のICタグを、気管支鏡チャンネルを経由して病変付近に留置します。留置したICタグの位置情報をID番号と共にアプリに登録します。術中は手術用アンテナで肺表面からICタグを検知し、その検知位置を切除範囲の判断材料として利用することができます。

シュアファインドの使用方法



術前留置

ICタグを気管支に留置

- 1.ICタグのID情報をアプリに登録
- 2.気管支鏡チャンネルを経由して、目的位置にICタグを留置し位置情報をアプリに登録

術中検知

ICタグを検知

- 1.手術用アンテナを使用し、肺表面からICタグを検知  
※ICタグとの位置関係で音に変化  
※ICタグのID情報に応じた位置をアプリが表示
- 2.ICタグの検知位置を切除範囲判断のメルクマールに利用

ヘッドマウントディスプレイ

Weaps

内視鏡モニターが目の前に来ることで良好な手術視野の確保に貢献するシステムです。



【ご利用のメリット】

- ・医師の術中の姿勢が改善
- ・周囲の視野の確保がしやすい
- ・軽量で負担ない装着
- ・ダウインチの助手用に最適
- ・3Dモニターに対応
- ・多くの内視鏡メーカーに適応

医療機器メーカーによる、医療のためのヘッドマウントディスプレイ

Wearable Personal Screen  
**Weaps**

3D対応。手元も容易に視認可能

偏光フィルターを用いず、3Dシステムに対応し、XGAでの解像度にて表示します。ビューワーで画面を見ても手元が見え、術野やデバイスの受け渡しなど、周囲を容易に確認することができます。

プレミアムキットを中心とした  
3つの製品で持続可能な  
手術提供体制の構築をサポートいたします



手術室情報共有ツール

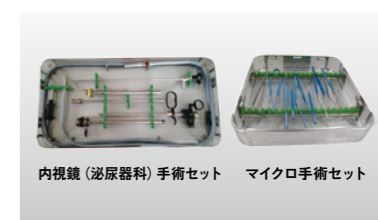


プレミアムキットの特徴

- > 生産性の向上
- > 安全性の向上
- > 業務の効率化



安定した器械出し、カウント作業、および滅菌・再生業務の安全に貢献



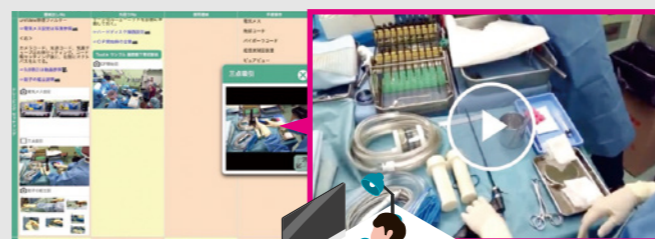
誰でも安全に手術準備ができる仕組みの構築

医療を取り巻く環境は年々変化しており医療機関も変化への対応が求められています。ホギメディカルも変化に対応し、新たな仕組み作りをサポートしていきます。

- ☑ 安心して働ける環境を作りたい
- ☑ 自主的に学べる環境を作りたい
- ☑ タスクシフト/シェアしてもバラつきのない安全な手術を継続したい

再現性の高いコンテンツでの反復学習

写真、動画を活用して情報共有の質を高め、確かなイメージを持って手術本番に臨めます。



OPERA-Note画面イメージ

業務プロセスの最適化

必要材料を使いやすい形態であらかじめセットすることで、展開時間を短縮し、準備漏れ・紛失・遺残を防止します。



イージーフィットシステム/プレミアムキット使用例

当社は1994年のP.T.ホギインドネシア設立以来、インドネシアを中心に展開し、2018年より、シンガポールでも営業活動を開始しています



Japan Quality

世界でも有数の医療用不織布製造工場 P.T.ホギインドネシア

1994年にインドネシアのジャカルタ郊外に設立した初の海外自社工場P.T.ホギインドネシアは、世界でも有数の医療用不織布の製造子会社としての地位を確立しており、ホギメディカルのグローバル戦略を象徴する重要拠点です。製品の製造だけでなく、自動化を推進し効率化を進めています。現在、他メーカーから供給を受けている医療材料についても内製化に取り組んでいます。また、P.T.ホギインドネシアは、国際標準化機構(ISO)の「医療機器の品質保証のための国際規格」ISO 13485:2016 の認証を取得しています。2011年には販売孫会社であるP.T.ホギメディカル セールスインドネシアを設立。不織布製品の販売を中心にインドネシア国内への販売活動を積極的に展開しています。

海外販売網を拡大

ASEAN各国で医療材料を販売する販売子会社設立

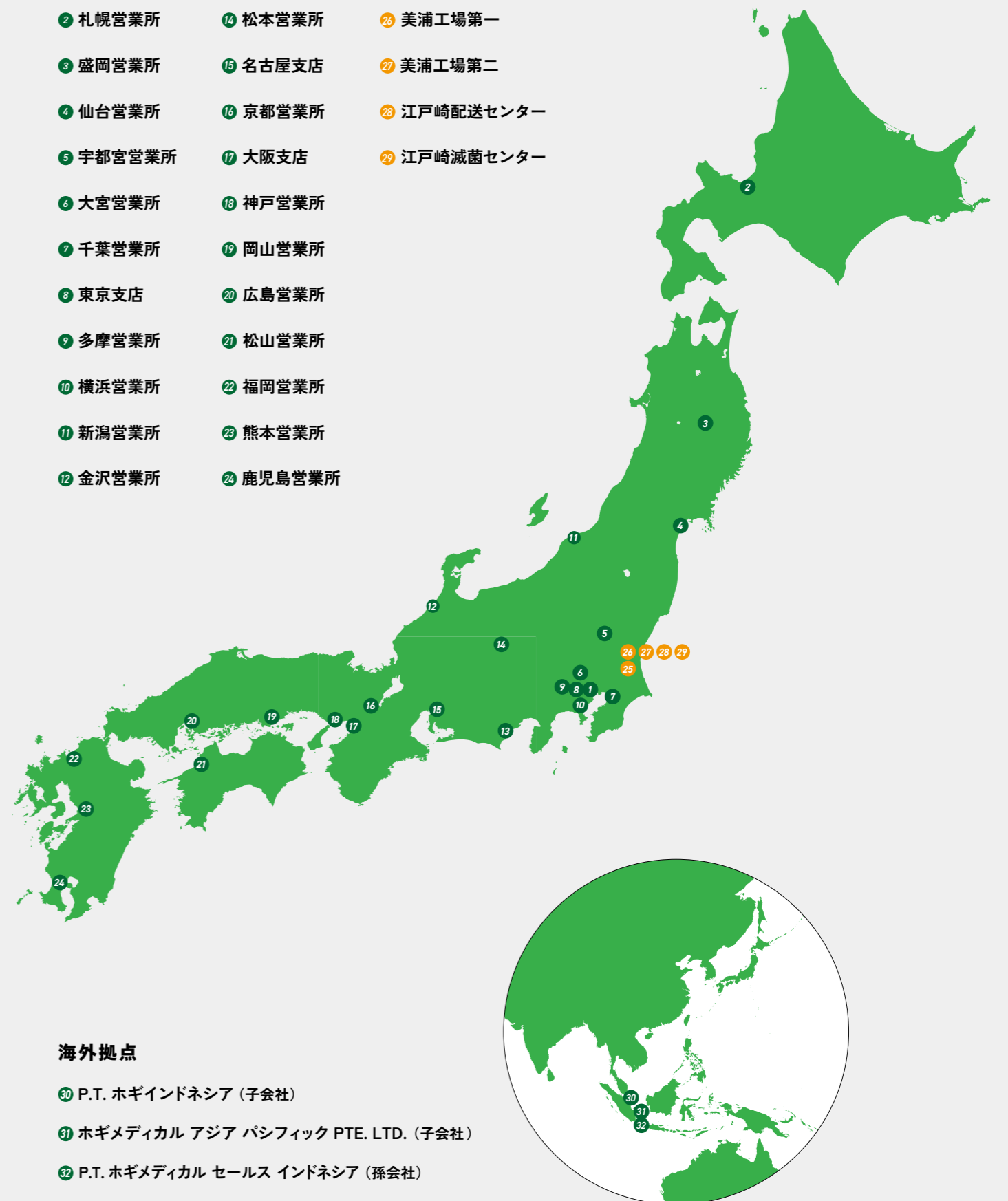
当社は、将来的に医療機器市場として可能性のあるASEAN(東南アジア諸国連合)各国での事業の拡大を目指しています。これらの国では経済成長や高齢化に伴い、患者数・手術件数が増加しています。そのため、医療機器・材料市場は成長を続けています。また、手術の高度化、手術件数の増加に伴い、病院の手術室の運営改善に寄与する製品・ソリューションが求められており、当社製品への需要も今後拡大することを見込んでいます。海外での事業基盤をより強固にするため、2018年にASEAN地域の経済をリードするシンガポールに販売子会社ホギメディカル アジア パシフィックPTE. LTD.を設立しました。医療需要の拡大が見込まれるASEAN等の主要病院に向けて、「プレミアムキット」を中心とした営業活動を展開しています。

本社および営業所

- ① 本社
- ② 札幌営業所
- ③ 盛岡営業所
- ④ 仙台営業所
- ⑤ 宇都宮営業所
- ⑥ 大宮営業所
- ⑦ 千葉営業所
- ⑧ 東京支店
- ⑨ 多摩営業所
- ⑩ 横浜営業所
- ⑪ 新潟営業所
- ⑫ 金沢営業所
- ⑬ 静岡営業所
- ⑭ 松本営業所
- ⑮ 名古屋支店
- ⑯ 京都営業所
- ⑰ 大阪支店
- ⑱ 神戸営業所
- ⑲ 岡山営業所
- ⑳ 広島営業所
- ㉑ 松山営業所
- ㉒ 福岡営業所
- ㉓ 熊本営業所
- ㉔ 鹿児島営業所

工場

- ㉕ 筑波工場
- ㉖ 美浦工場第一
- ㉗ 美浦工場第二
- ㉘ 江戸崎配送センター
- ㉙ 江戸崎滅菌センター



海外拠点

- ⑳ P.T.ホギインドネシア(子会社)
- ㉑ ホギメディカル アジア パシフィック PTE. LTD.(子会社)
- ㉒ P.T.ホギメディカル セールス インドネシア(孫会社)